

1996年5月24日

本田技研工業（株）

広報部

本田技研 北海道総合試験場
『鷹栖ブルービングセンター』が完成

本田技研工業（株）は、かねてより、北海道上川郡鷹栖町に建設中であった二輪車、四輪車、汎用製品（除雪機、農機、他）の各種テストが行える総合試験場「鷹栖ブルービングセンター」がこのほど完成し、5月24日に竣工式を行う。

この鷹栖ブルービングセンターは、総面積532ヘクタールに、世界のさまざまな道路条件を網羅した1周6.8kmの高速周回路と6.2kmの登降坂ワインディング路の他、冬季には圧雪路、氷結路、シャーベット状路等、種々の異った条件でテストが行えるコースと、多目的に使える150名収容のホールを備えている。

ホンダでは、栃木県、米国カルフォルニア州、オハイオ州のテストコースに次ぐ四番目の施設で、寒冷地におけるはじめての研究施設であり、「鷹栖ブルービングセンター」の完成によりホンダの研究開発体制は一段と充実、強化された。

尚、建設にあたっては北海道の豊かな自然の保全を守るため、60%の森林面積を残すとともに、3万5千本の植樹を行うなど自然環境との調和に十分な配慮を行っている。

□ 施設概要

- ・名称 本田技術研究所「鷹栖ブルービングセンター」
- ・所在地 北海道上川郡鷹栖町21線10号（大成地区）
- ・電話 0166-87-4322
- ・面積 532ha（161万坪）
- ・着工 平成2年4月
- ・完成 平成7年11月
- ・投資額 約134億円
- ・運営管理 （株）本田技術研究所
鷹栖ブルービングセンター 所長 大橋 正弘

□ コースの概要

* 高速周回コース

超高速での連続走行が可能で、各種の路面表層仕様を有し、サスペンション機能やエンジン機能などのテストを行う。

・1周：6.8 km ・幅員：4 m×3車線

* 登降坂ワインディングコース

9 Rから最大160 Rまでの異なるコーナーと路面変化などの設定により、車体やサスペンションのトータルバランステストを行う。

・1周：6.2 km ・最大高低差：57.5 m ・最大勾配：10%

* 第一周回コース

冬季は一般的な圧雪路を想定したワインディングロードヒーター性能や、雪上でのコーナーリングテスト、また夏期には未舗装路の商品性の各種テストを行う。

・1周：3.1 km ・幅員：7 m ・最大勾配：6%

* シャーベットコース

シャーベット状にした冬季テストコース。車体への着氷試験などを行う。

・延長：100 m×2本 ・幅員：4 m

* 冬期総合コース

氷結路面コース（アイスリンク）、ABS、TCSなどのテストを行う。

・延長：900 m ・最大幅員：150 m

* 直線コース

一般積雪路を想定したコースでエンジン始動直後の暖気経過時のテストを行う。

・延長：1.1 km ・幅員：肩幅3 mの対面

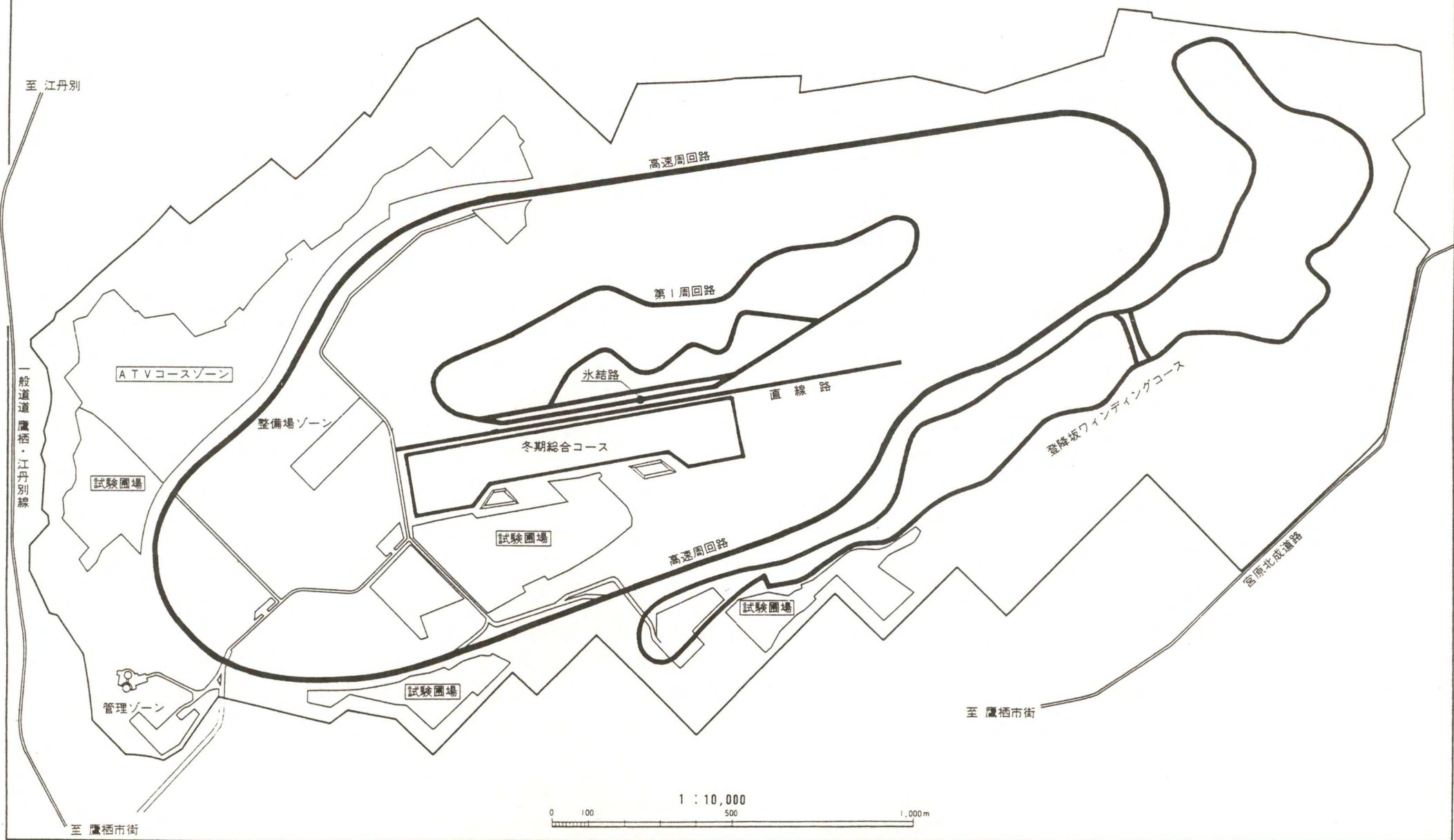
□ 建屋の概要

* 研究棟（整備場、車庫、データ処理棟など）

* 鷹栖PGホール（多目的ホール） 1棟：150名収容

以上

北海道総合試験場 レイアウト図



1 : 10,000
0 100 500 1,000 m